

科名 呼吸器内科
 対象疾患名 非小細胞肺癌(非扁平上皮癌)
 プロトコール名 キイトルーダ+CDDP+PEM

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	3	4	...	21
1	点滴注	メイン⑤-1	生食	500mL	10:00-13:30 入れきり	↓					
2	点滴注	側管①	ソルデム3A 硫酸マグネシウム	500mL 20mL	120分かけて 10:00-12:00	↓					
3	点滴注	側管③	パロノセトロンバッグ アロカリス デキサート	0.75mg 235mg 9.9mg	30分かけて 12:30-13:00	↓					
4	点滴注	側管④	キイトルーダ 生食	200mg 100mL	30分かけて 13:00-13:30	↓					
5	点滴注	側管⑤	ペメトレキセド 生食	500mg/m ² 100mL	10分かけて 13:30-13:40	↓					
6	点滴注	メイン⑤-2	生食	500mL	13:40-16:40 残破棄可	↓					
7	点滴注	側管⑥	シスプラチン 生食	75mg/m ² 250mL	120分かけて 13:40-15:40	↓					
8	点滴注	側管⑦	マンニトールS	300mL	60分かけて 15:40-16:40	↓					
9	点滴注	メイン⑤-3	ソルデム3A	500mL	120分かけて 16:40-18:40	↓					
10	点滴注	メイン⑤-4	ソルデム3A	500mL	120分かけて 18:40-20:40	↓					
11	点滴注	メイン⑤-5	ソルデム3A	500mL	120分かけて 20:40-22:40	↓					
12	点滴注	メイン	生食 デキサート プリンペラン	100mL 6.6mg 20mg	30分かけて		↓	↓			
13	点滴注	メイン	生食	500mL	120分かけて		↓	↓			
14	点滴注	メイン	ソルデム3A	500mL	120分かけて		↓	↓			
15	点滴注	メイン	ソルデム3A	500mL	120分かけて		↓	↓			

～MEMO～

催吐レベル4(90%以上)

4コースまで

<キイトルーダ>

本剤作用機序により、過度の免疫反応による副作用が現れることがある。発現した事象に応じた専門医と連携すること。

特に注意を要する副作用:間質性肺疾患、大腸炎、重度の下痢、肝炎、神経障害、副腎障害、重度の皮膚障害

infusion reaction、重症筋無力症、筋炎、1型糖尿病、甲状腺機能障害、腎障害、脳炎、静脈血栓症

インラインフィルター(0.2または0.22ミクロン)を使用し、投与前後に生食でフラッシュする。

<ペメトレキセド>

NSAIDsと併用注意

副作用予防のため必ず葉酸とビタミンB12を組み合わせる。

葉酸: フォリアミン0.5mg/dayはペメトレキセド投与7日前～最終投与後22日目まで毎日投与。

ビタミンB12: メチコパール注500μgを2Aペメトレキセド投与7日前～最終投与後22日目まで9週毎(3コースごと)